

I 期 (一般)

受験 番号	<input type="text"/>	氏 名	<input type="text"/>
	<input type="text"/>		

令和 5 年度

武蔵野大学大学院 言語文化研究科 言語文化コース 入学試験問題・解答用紙 (9 月 25 日)

評 点

[小論文]

評 点

以下の 4 つの設問から 1 つ選び、1000 字程度で論じなさい。
なお、問題・解答の余白をメモに使っても構わない。

- 1) 異文化が接触する場面で円滑なコミュニケーションを行うためにはアサーションが重要である。アサーションとはどのようなことか、具体例を挙げて説明しなさい。
- 2) 「文化の異なり＝国の異なり」とステレオタイプ的に捉えることにはどのような問題があるか。具体例を挙げながら説明しなさい。
- 3) 教師は学習者の誤りに対し訂正フィードバックを行うが、訂正フィードバックにはどのような方法があるか説明しなさい。また、常にフィードバックすることが必要かどうか、具体例を挙げながらあなたの考えを述べなさい。
- 4) 近年、外国語教育において CLIL という学習が注目されている。CLIL とはどのような学習のことか、その特徴や利点について説明しなさい。また、CLIL のためにどのような教材を使用するのがよいかについても併せて言及しなさい。

<メモ用余白>

選択問題番号()

A large grid of graph paper with a vertical axis on the right side. The vertical axis is labeled with numbers from 100 to 1100 in increments of 100. The grid consists of 20 columns and 100 rows. The grid lines are solid, while the vertical axis line is dashed. The grid is intended for plotting a graph or drawing a diagram.